

議会改革・活性化特別委員会の最終報告

本委員会は、平成 21 年 9 月に設置し、およそ 1 年 7 ヶ月をかけて、11 人の委員により審議してきました。

その間に、議員研修会や管外視察研修を行い、議会の現状やあるべき姿を学んで、31 回にわたり委員会を開催し、新たな京田辺市議会をつくり上げるため議論を重ねました。

議論の中心となったものは、議会の果たすべき機能について、組織や構成について、また、公開と情報提供についてなどで、審議項目は 60 項目におよびました。

なかでも、議員政治倫理条例は、我が身を律し、議員のあるべき正しい姿勢を常に備えておこうという思いにより、多くの審議時間を費やし議論しました。

そして、まとめ上げた審議結果を、議長を通じ、市長へ届けました。

しかし、我々の考える二元代表制の認識の違いから、市からの回答は、課題の多い内容でありました。

特に、議員政治倫理条例や、地方自治法第 96 条第 2 項に基づいた、市議会が議員発議として定めることができる議決権の拡大を目的とした条例の制定においても、条文内容の精査が必要となったため、引き続き協議を行うこととなりました。

このことから、本委員会では、協議すべき事項が多岐にわたること、また、23 年 4 月には議員任期満了になることなどを考慮し、現任期中にまとめることは困難となり、改選後に再度委員会を立ち上げ、協議すべきであると委員全員の意見として示して、新旧議長の引き継ぎ事項にすることとしました。

式事 来賓の態度に問題

趣旨を理解し協力を願う

市田博 議員（一新会）

①大住北部地域の幹線道路や準幹線道路の渋滞、騒音、振動、事故等の対策について。第二京阪高速道路開通、また、八幡

市域において大型商業施設の出店が予定され、郊外型施設として大駐車場を備え、その数店舗で 3 千台の駐車台数に及ぶと聞く。また、山手幹線の



公式行事である小学校入学式

平成 32 年をピークに減少すると全国的に推察されることから、道路整備を最小限に抑え、交通分散

②一休寺景観問題について。京田辺市観光ボランティアガイド協会の方々が最も有名な観光スポットといわれる一休寺の景観をどう守るのか。また、裏山に都市公園等

講すべきと考える。市長 事業者には法律の範囲で申し入れる。

建設部長 京田辺市北部地域道路網検討協議会では、北部地域の道路網のあり方等課題を検討し、効果的な対策を立案する目的で会議を重ねた。その結果、今後の交通量は、

③学校活動の問題点について。小中学校の公式行事に参加する来賓の態度に教育上の問題がある

は考えられないのか。建設部長 一休寺の景観は、シミュレーションの調査結果に基づくと、方丈からの眺望は守られると考えるが、NPO 法人一休酬恩会のナショナルトラスト運動を見守っていきたいと考える。

建設部長 一休寺の景観は、シミュレーションの調査結果に基づくと、方丈からの眺望は守られると考えるが、NPO 法人一休酬恩会のナショナルトラスト運動を見守っていきたいと考える。

普賢寺地区の振興方策は

協議しながらすすめていく

小林喜代司 議員（新栄会）

①人口の増加が続く本市の中で、高齢化率も高

市長 普賢寺地区の振興策は歴史的な問題、農地の問題と、いろいろな形はあるが、どれだけ地

スの中で取り組むべきではないかと考えている。

②府道八幡木津線の交通安全対策として児童の通園、通学時の大型車の交通規制が強く求められている。過去に調査を

山間地域は自然共生ゾーンと位置づけしているの

手幹線を南へ行くという



早急な振興対策が待たれる普賢寺地区（水取）

③同志社京田辺キャンパスが開校 20 年を経過したが、JR の踏切りも市道も全く改良されていない。今後の整備計画は。

建設部長 防賀川切り下げ後の用地の有効利用を考えている。同志社大学へのアクセス道路にもなる遊歩道など整備する

議員研修会

「学校図書館と教育について考える」

2 月 8 日、日本図書館協会理事長、大阪教育大学名誉教授の塩見昇氏を迎え、議員研修会を開催しました。

「学校図書館と教育について考える」をテーマに、学校図書館の基本的なあり方や、学校図書館をめぐる最近の動き、これからの学校図書館に求められる課題等についての講義を受けました。

今後、本市において学校図書館の整備について検討していく上で、大変参考となる有意義な研修を受けることができました。



用語の解説

○クラウド化

（2 面左 3 段目）データ、ソフトウェア等の使用について、従来

は手元のコンピュータで管理・利用していた方

のネットワークを通じて利用する方式に変更すること。クラウドとは「雲」を意味し、ネットワー

次世代育成支援のための包括的・一元的なシステム。政府の推進体制・財源の一元化、幼稚園・保育所の一体化、多様な保育サービスの提供等の実現を目的とし、平成 25 年からの施行が予定されている。

○ナショナルトラスト運動

（5 面左 9 段目）（7 面右 5 段目）自然や歴史的遺産等を開発から守るために、多くの人が資金を出し合っ

○子ども・子育て新システム（4 面左 1 段目）政府が提案する新たな

この考えが広がった。